

補助事業番号 28-71  
補助事業名 平成28年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業  
補助事業者名 東大阪市

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

東大阪市立産業技術支援センターでは、評価・分析・加工機器の整備・充実に努めており、技術がますます高度化する中で稼働率や資金面においてこうした機器を保有することができない市域中小企業がこれらを利用することで、より効率的に生産や研究開発を進め、技術力強化や製品の高度化ができるよう支援をしてまいりました。しかしながら、導入されている機器は老朽化し、特にパソコン等の制御機器およびその付随ソフトの進歩にともなって、メーカーにおいても後継機種に移行しているなど、現有機器は顧客のニーズを満足させることが困難になっております。また、利用者の評価・分析等のニーズについても近年多様化しており、そのニーズに対応するため、設置機器の機能アップや新規機器の設置等が望まれる状況であることから、機器の更なる充実と共に、機器の更新および新規整備も重要な課題となっております。しかし、この機器整備においては本市の財政面から単独での機器調達や整備は難しいため、公益財団法人 JKA が実施する公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業の活用により平成 28 年度機器整備を実施しました。

### (2) 実施内容

#### 【精密万能試験機の導入】

当センターでは平成9年の開設時に100kN（10トン）の精密万能試験機を設置し、関連のサービスを開始しております。なお、開設当時には貴財団からの補助は受けておりません。その後、平成20年には設置当初の制御・データ解析用コンピュータの保守が不可能となったことから、制御部と関連ソフトウェアの更新およびねじり試験機能の付加を実施し、大幅な改修を実施しております。この折には、貴財団の補助を頂いております。これまで平成9年設置の装置本体の活用と延命化を図ってきておりましたが、装置の基幹となる駆動部およびロードセル部（強度検出部）は製造後約20年を経過し、測定精度の再現性において信頼性が乏しくなりつつあります。そこで現在の試験機をねじり試験専用機として継続活用しつつ、利用者の高度な要求に応えられる体制を維持するため、貴財団の補助を受けて精密万能試験機を更新導入致しました。

## 2 予想される事業実施効果

本試験機は材料・製品の機械的性質を高精度に評価する試験機となっており、中小企業の製造業が集積している本市において、導入した機器によって、以下のような評価を行うことが可能となり、技術力強化や製品の高度化が図れ、機器利用の拡大も期待できます。

### ①鋼線、針金、ワイヤー等金属製品の引張強度の測定

- ②プラスチック製品・部品の強度、剛性の測定
- ③ロープ、荷造り紐等、繊維製品の強度と破断伸びの測定
- ④接着剤、粘着剤の接着強度、剥離強度の測定
- ⑤その他、「強度やひずみ（伸び）、剛性が知りたい」といったニーズに幅広く対応可能

### 3 本事業により導入した設備

精密万能試験機 (<https://techsupport.jp/113.php>)



設置場所：【東大阪市立産業技術支援センター】

本試験機は製品・部品の引張強さ、圧縮強さ等を高精度で測定することができ、また多彩な治具を取り付けることで曲げ、せん断、剥離、引裂き、サイクルなどの様々な試験が可能です。更には試験の対象が金属、プラスチック、ガラス・セラミックス、繊維、接着・粘着剤、木材などあらゆる材料となるため、今後、幅広い市内企業にご利用いただけるものと期待されます。

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 東大阪市立産業技術支援センター

(ヒガシオオサカシリツサンギョウギジュツシエンセンター)

住所： 〒577-0065

大阪府東大阪市高井田中1-5-3

代表者： 所長 藤田 直也 (フジタ ナオヤ)

担当部署： 技術相談員 (ギジュツソウダンイン)

担当者名： 高田 利夫 (タカダ トシオ)

電話番号： 06-6785-3325

F A X : 06-6785-3363

E-mail : [sangi@techsupport.jp](mailto:sangi@techsupport.jp)

URL : <http://techsupport.jp/indexpc.php>